

県大 jiman

2017

J U L Y
0 2 1

滋賀県立大学広報誌

特集1

県大生の1日に密着!

特集2

県大jimanができるまで

突撃!! jimanな先生 : 南政宏助教

After School Report : 座・沖島

News : 地域ひと・モノ・未来情報研究センター特集



CONTENTS

特集

- 03 県大生の1日に密着！
- 07 県大 jiman ができるまで

県大REPORT

- 09 突撃!! jiman な先生：南政宏助教
- 11 After School Report：座・沖島
- 12 information
- 13 News：地域ひと・モノ・未来情報

研究センター特集

学生広報スタッフ大募集！

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。

デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。

外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

年2回発行

夏号7月上旬

冬号2月下旬

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第21号

発行 | 滋賀県立大学広報委員会

編集 | 広報誌作成グループ

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470

E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp

発行日 | 2017年7月

www.usp.ac.jp

誌面デザイン：学生スタッフ

県大 jiman

特集 1

県大生の1日に密着！

特集 2

県大 jiman ができるまで

21 号のテーマは「know」です。知っていること、知らないこと、知ってほしいこと、知りたいこと、世の中にはたくさんの「know」の種があります。

今回、下宿生・自宅生の生活に迫る「県大生の1日に密着！」、県大 jiman 完成への道のり「県大 jiman ができるまで」をはじめとした5つの種を蒔きました。

県大 jiman をきっかけに「know」を育て、世界を広げてみませんか？

思いもよらないところに「know」の種があるかもしれません。

編集後記

テーマ：県大豆知識



環濠の花筏。年に数回しか
見れない光景です。

機械システム工学科 3年 吉川知秀



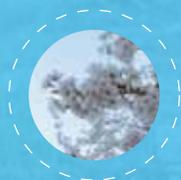
チョコレート常備は必須。
地域文化学科 3年 小林真紀子



琵琶湖の風を感じられる。
人間関係学科 2年 池田真菜



人間文化学部棟にいます。
ぜひ探してみてください。
人間関係学科 2年 山根光穂子

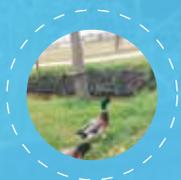


春は桜が綺麗に咲きます。
桜並木は一見の価値あり。
人間関係学科 2年 樋口怜奈



雪が降ると大学一面真っ白に。
雪だるまが作り放題。

人間関係学科 2年 岸本沙希



鴨が可愛いかも。
国際コミュニケーション学科
2年 足立実音



人なつっこいヒツジと、
人見知りのヒツジがいます。
事務局 山奥桂司



壁がなく開放的。近隣の方が散歩に
来られることも。
事務局 今村圭吾

生活デザイン学科 4年 本保 絵莉子
生活デザイン学科 4年 小川 萌香
生活デザイン学科 4年 林 晶
環境生態学科 2年 藤森 智世
環境政策・計画学科 2年 正木 美帆
OB 高杉 昭吾

みなさんは県大生がどのような1日を過ごしているのか、知っていますか？今回の特集では、下宿生と自宅生のそれぞれの1日に密着し、「下宿生」と「自宅生」のそれぞれの魅力をご紹介します。県大生の生活を覗いてみましょう！

Q なぜ下宿をしているのですか？

A 実家から大学が遠いからです。

Q 同じ下宿先で交流はありますか？

A 一緒に遊ぶこともあります。
風邪を引いた時には助け合います。

Q 下宿生のいいところはありますか？

A 自分で色々できるようになります。

Q 食事はどうしていますか？

A 自炊しています。
昼食は手作りお弁当です。

Q 実家に帰りますか？

A 頻繁に帰ります。

Q 下宿生あるあるはありますか？

A 頻繁に水道・電気代を気にします。



下宿生の の 平日



生活栄養学科 2年
石田真那華さん
愛知県出身

県大生の1日に密着！

Q 食事はどうしていますか？

A 基本的に簡単なものを作っています。和食屋さんのバイトがあるときは、まかないを食べています。

Q 放課後は何をしていますか？

A 週に3日はアルバイトをしています。ほかの日は次の日の課題をしています。

Q 同じ下宿先で交流はありますか？

A 一部の人は遊んだりします。

Q 家でどのように過ごしていますか？

A 課題をしたり、ギターやキーボードを弾いたりしています。

Q 下宿生のいいところはありますか？

A なんでも自分のペースで行動できることです。

Q 学校周辺でオススメのご飯屋さんがあれば教えてください。

A ラーメン屋さんがオススメです。彦根には気軽に入れるおいしいラーメン屋さんがたくさんあります。

下宿生の休日



国際コミュニケーション学科 2年
岡崎創平さん
滋賀県出身

自宅生の 平日



生物資源管理学科 2年
柿迫七海さん
滋賀県出身

高校生にメッセージ
今のうちに勉強を！



Q お昼ご飯はどうしていますか？
A 買うときもありますが、お弁当の時もあります。

Q お小遣いはもらっていますか？
A ないです。バイト代を交際費にしたり、貯金したりしています。

Q 自宅生のいいところはありますか？
A 帰宅したらご飯がすでにあるところです。あと自分で家事全部をやらなくていいことです。

Q 家事はしますか？
A たまに洗濯と洗い物をします。

Q 門限はありますか？
A ありません。事前に連絡すれば大丈夫です。

Q 自宅生あるあるはありますか？
A 電車を乗り過ごしてしまうことです。

下宿生あるある

家に人が来て帰った後にさみしい。

家で友達とパーティーをする。

洗濯を回したまま干すのを忘れる。

自宅生の休日

人間関係学科 2年
辰巳佳穂さん
滋賀県出身

高校生にメッセージ

大学はやりたいことができる場所です！受験を乗り切って一緒に楽しい大学生活を送りましょう！



Q 通学中の電車で何をしていますか？

A 寝たり音楽を聴いたりしています。

Q お小遣いはもらっていますか？

A もらっています。

Q 門限はありますか？

A ないけれど事前に親に遅くなることを伝えれば大丈夫です。

Q お昼ご飯はどうしていますか？

A 食堂で食べたり生協ショップで買ったり自分でお弁当を作ったり色々です。

Q 家でどのように過ごしていますか？

A テレビや動画を見たり音楽を聴きます。

Q 自宅生のいいところはありますか？

A 家に帰ればご飯が作られています。

自宅生あるある

地元だから落ち着く。

電車で熟睡できるようになる。

最寄駅の直前で目が覚める。

できるまで

1. 企画

記事を作るにあたっては、まず企画を考えなくては何も始まりません。年に2回発行する県大 jiman では春先と秋頃に企画出しをします。

編集委員はそれまでに日頃の学生生活からやりたい企画を考えています。最初の段階なので、かなり奇抜なアイデアが出ることもあって、会議の場はとても盛り上がっています。

もし読者のみなさんでやってほしい企画があれば、ぜひともアンケートに記入してください！もしかしたらあなたのアイデアが次の企画の案になるかもしれませんよ。

また、企画が固まり次第、どのようなレイアウトにするか考え、ラフ案を作成します。



こだわり Points !

自分の興味あることを掘り下げて知ることができる。(池田)
 気になる話題を記事にして読者と共有できちゃう！(小林)
 文字や図形の位置・形などを変えながら様々なパターンを考えるラフ案が楽しいです。(岸本)

2. 取材

企画が決定したら次は取材です。取材する内容や具体的な質問を決めたら、アポを取り、カメラやボイスレコーダーを手に実際に取材に行きます。

取材では、先生方や県大生から興味深い話を聞くことができます。他学科のことを知るきっかけになったり、それまでの自分のイメージが変わったりすることもある、とても楽しい工程です。

取材を終えたら、録音した音声から文字起こしをしたり、取材した内容を整理したりして、誌面に載る原稿を作っていきます。

こだわり Points !

インタビューをしていて、自分が予想もしていなかった発見があるかも。(山根)

取材をしていく中で県大の良さ(特に学生、先生方の人柄)を掘り起こせていけるところ。(吉川)



3. 誌面作成

原稿・ラフ案をもとに、Illustrator※やPhotoshop※で誌面を作成します。県大 jiman の見栄えが決まる重要な作業で、いかに面白そうに、また楽しそうに演出するか工夫を凝らします。

実際に作ってみると思っていたようにいかず、結局ラフ案と全く違う構図になることもしばしば。

スタッフによっては Illustrator を使い慣れておらず、苦勞することも多いですが、その分やりがいのある工程です。特に学生企画は、一から自分たちでデザインしていくので、大変さも、完成した時の達成感も大きいです。

※Illustrator …有料誌面作成用ソフト。県大の多くの PC にインストールされている。誌面作成の工程で大活躍。
 ※Photoshop …有料画像編集用ソフト。県大の多くの PC にインストールされている。画像の切り取りや色調補正などに使用。



こだわり Points !

拙いながらも Illustrator を使って誌面を理想に近づけていく作業が楽しいです。(樋口)

「県大 jiman ができるまで」を見届けたあなた！

県大 jiman に興味が湧いてきましたね？

県大 jiman はまだまだスタッフを募集中です！

編集に興味がある、写真を撮るのが好き、
 広報活動してみたい、動機は何でも OK !

今こそあなたの発想・着眼点その他諸々を
 輝かせるとき！

ミーティングの見学も大歓迎です！

ぜひ県大 jiman にご一報を！

メールアドレス：kendajjiman.tw@gmail.com

4. 校正

各担当が作成した誌面を数度にかけて全員で確認します。誤字脱字、内容的な問題点、デザイン的な問題点など挙げたポイントは次回の校正までに修正します。県大の大学院の卒業生でプロの方にアドバイスをいただくこともあります。

初稿と最終稿で大きくデザインが変わることもめずらしくなく、劇的なビフォー & アフターを楽しめます。



突撃!!

ジマヨリな先生

モノの本質価値を

デザインで追求する

生活デザイン学科

南政宏先生

地域に密着した研究

南先生が研究されている内容は主に二つある。一つ目は、道具などのデザインの実践的研究で、二つ目は、地域物産品・地場産業のデザインと、それらを通じて企業価値をあげるブランディングである。

道具などのデザインで最近行われているのは、県産材のコナラを使った椅子などの製作である。滋賀県内では虫害でナラの木が立ち枯れしてしまうナラ枯れが発生していた。ナラ枯れしてしまった木はこれまで薪にするしか用途がなかった。しかし薪にするだけではもったいない良質な材料も多く、何か他に用途はないかということ、SHIGA CHAIR(※1)をデザインしたそうだ。また授業では多賀産の木材を使った鍋敷きなどを作るという演習課題も出されているそうだ。

地域物産品のデザインで手がけたものとしては、滋賀県内の水産企業と老舗菓子企業とが共同開発した、滋賀県の名物である鮎寿司のアイスクリームのパッケージデザインなどがある。地域に根ざした商品をデザインすることを通して、地域の価値を向上させる「地域ブランディング」についても熱心に研究されている。

物のデザインから完成まで

南先生が物をデザインするにあたって最も重要にしていることの一つが「本質価値の追求」である。売れる商品というのは、本質

の価値を追求しているものだと言う先生が、デザインするにあたって最初に考えることは、与えられた条件にヒントを探すことだ。例えば最初に金の缶詰があるならばその色の特徴を活かしていこうと考えていき、これを基本に、何十種類も模型を作り検討を重ねていくそうだ。

またデザインを考えていく際に、重要としていることに、リサーチや、ヒアリングがある。商品売るにあたっては、客層や、ターゲット、値段などの消費者向けの課題とともに、開発予算や工場の制約といった生産者側の制約もある。そのような条件のバランスを取りつつデザインするには、リサーチやヒアリングが重要である。先生は「一般的にデザインは飾り付けだと思われているが、実際は本質価値の追求であり、頭を使う仕事でもあり、感性だけでやっていくようなものではあまりない。でもみんなそんなふうには絶対思っていない」と仰っていた。



→先生がデザインした作品



コナラの木で製作した椅子

高校生のみなさん・学生に「知」ってほしいこと

「デザインというのは、いろんな場面で見え役割が大きいと思います。同じものでも見せ方や伝え方で印象は全然変わってきますし、ユーザーのミスも減ります。デザインは絵が描けなければいけないと思われがちですが、私が専門にしているブランディングでは、絵を描くことよりも、どのような価値を作り、適切に伝えるかが重要です。道具のデザインでは使い手の気持ちになることが大事です。またコミュニケーションが非常に重要であるとも思います。あとは大学に入ってからやる気、前向きな心も大事ですね。絵が描けないからといってダメだと思ってしまうのはなく、知恵があれば何とかなると思います。『センスは知識』という言葉があるように、センスのある人は、まず知識があります。

学生に対してはもっと効率的に動いたらいいと思いますね。プロセスをデザインすることです。私の歳になると時間が惜しいです。学生は課題に時間をかけていますが、見ていると無駄も多い。だから時間の使い方や大学生の間に身に付けておくといいですね。あと学生時代にもっと本を読んでおいたらよかったですと私は思いました。」

先生が最近知ったこと

「色々ありますね。まずは生協のミールシステム(※2)ですね。自分が県大生だった

ときはありませんでした。あとはオーディオブック(※3)ですね。忙しくて、本を読みたいと思っても読む時間がない。でもオーディオブックを買えば運転しながら聞けるので、車での移動が多い私にとって時間を有効活用できるので良いなと思いました。今までの時間を損した気分になりました。」

(※1) SHIGA CHAIRの企画・プロデュース：辻利樹 アアルス

(※2) 事前にまとめて食費を払い、一日の利用上限内で、食堂や生協ショップで、自由に食事をする事ができるシステム。

(※3) 書籍を朗読したものを録音した音声コンテンツの総称。



南 政宏 (みなみ まさひろ)
 滋賀県立大学
 生活デザイン学科 助教
 (2011年4月～現在)
 生活デザイン学科 助手
 (2005年4月～2011年3月)
 環境科学研究科環境計画学専攻
 2002年度修了

TOP AWARDS ASIA 2016 受賞



背中に掲げるは
ドドン！と書かれた「沖島」の文字。
琵琶湖を思い出させる青地と
魚が高く跳ねて勢いある白波の裾の法被は
漁師の島で活動する元気な学生の一張羅！！

After School Report

座・沖島

国内唯一の淡水湖に浮かぶ有人島で
「学び・交わり・支える」活動を行う
創立1周年を迎えたイノベーションチームに注目！！

今回の取材に応じたのは、太陽のような笑顔と人懐っこい喋り口調が魅力的な近江楽座※「座・沖島」代表の久保瑞季さん（地域文化学科3年生）である。



座・沖島は昨年6月に発足したばかりの団体である。月1回の定例会でメンバーの意見やアイデアを交換し合ったり、沖島のイベントや事業に参加するのが主な活動だという。昨年の大きな成果は「沖島写真展」の開催である。島民のリクエストに応じ、アマチュア写真家が島民とのコミュニケーションを通して映し出した「ホンモノの沖島」を展示した。観光客はもちろん、帰省してきた人、そしてメンバー自身にも「沖島の魅力」を伝えられたという。

「なにぶん新米団体ですから、昨年は『島のことを知る』という目標に奔走することに精一杯でした。今年は昨年の反省を踏まえ、学生が沖島でしてみたいことにも取り組んでいくつもりです」

※大学の総合力「教員の専門性」「学生の行動力」を源に地域活性化への貢献を通して地域社会へ根付いていく活動で、これまで265のプロジェクトが展開されてきた。

活動に至るまでの経緯は？

久保さんは「近江の暮らしとなりわい」という授業で、島民の活動ぶりを知る。高齢ながらも元気に活動する島民の姿に「若者も動かなあかんやろ！」と刺激を受け、団体発足を決意。驚くべき彼女の行動力はそれだけに留まらず、なんと今年中に沖島移住をすることのこと。

「思ったことをすぐに実践できることは、学生の特権です。それに長期活動されている楽座さんで、地域が保護者レベルで学生を支えてくれるんです。それならやっぱり身近で生活して、信頼関係を築きたくて！」

活動を通して知ったことは？

「実は：明確なものがいまいち分からないうです。私はただ純粋に『楽しい！』という気持ちのままに、自分のしたいことしているだけなんで」

久保さんは苦笑しながら答えてくれた。だが、インタビュアーを通じて私達が知りえることは多くあった。

過疎・高齢化が急進する地域にも若者を魅了する要素があること。「つながら」が地域や人間を育てること。地域が学生の自己実現の場所であること。

なにより久保さんの課題を見つめる洞察力や、団体発足から移住に至る大胆なまでの積極性は、是非とも見倣うべき要素であり彼女の最大の魅力であるだろう。

最後にメッセージを！

「悔るべからず田舎です！私も都会から滋賀に来て『田舎の大学なんて嫌やな...』と思っただけですが、地域に根ざした大学だからこそ『学生らしい・学生だけのチャンス』が転がってるんです」

島民に寄り添った支援活動ではなく、島民になって島民ありきの活動に参加することで、沖島に笑顔と元気をお裾分けする「座・沖島」。今後の活動が、沖島をはじめ課題を抱える地域のイノベーションの礎になることを期待している。



沖島

は国内唯一の淡水湖上の人が住む島。
超高齢地域だが元気なお年寄りが多く、
また漁業が盛んであり、その操業範囲は琵琶湖一円に渡る。
「支えあい・ふれあい」を重んじていて、
島全体がひとつの「家族」であると同時に、
よそから来た人も温かく迎え入れるコミュニティーが残されている。



停泊する漁船と立ち並ぶ古民家。どこか懐かしい雰囲気が漂ってくる。



昨年の湖風祭の「よそものコロケ」は大好評で全日完売。美味しく外来魚駆除に大成功！！



世代を超えた仲良しピースサインv(^)(^)/v
沖島の人は学生以上に元気ハツツ？！

受賞・表彰

教員

生活デザイン学科
南 政宏助教

生活デザイン学科
Towards Asia

生活デザイン学科
【教員】 山田 歩助教・藤木 庸介准教授

【学生】三輪 あさひ(4年)
第31回全日本DDM大賞 グランプリ

学生(学年は受賞時点)

生活デザイン学科
岡田 千穂(3年)

かごしまデザインアワード2016
奨励賞

生活デザイン学科
坂口 亜弥(1年)

みんなでシェアするエコアイデアコンテスト「チエコ2016」リエコ賞

生活デザイン学科
林 晶(3年)

第5回OAC学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト グランプリ

生活デザイン学科
保科 真喜子(4年)

デザイン女子No.1決定戦2017
NAGOYA

インテリア・プロダクト部門 特別賞

機械システム工学専攻博士前期課程
川俣 遼悟(1年)

日本機械学会関西支部定時総会講演会
ベストポスター賞

機械システム工学科
木澤 悠大(4年)

中村 寛望(4年)
日本機械学会関西学生会

平成28年度学生員卒業研究発表講演会
BPA

生活デザイン学科
山本 彩乃(3年)

(一社)日本繊維機械学会・繊維リサイクル技術研究会主催の第4回 繊維リサイクルアイデアコンペティション
最優秀賞

生活デザイン学科
小木曾 のぞみ(3年)

(一社)日本繊維機械学会・繊維リサイクル技術研究会主催の第4回 繊維リサイクルアイデアコンペティション
カテゴリー特別賞

環境動態学専攻博士後期課程
宋 培学(2年)

第81回日本陸水学会 優秀ポスター賞

環境動態学専攻博士前期課程
高橋 祥尚(2年)

第81回日本陸水学会 優秀口頭発表賞

環境動態学専攻博士前期課程
宋 培学(2年)

環境動態学専攻博士前期課程
稗田 真也(2年)

17th International Symposium on River and Lake Environment and 3rd International Symposium on Aquatic Botany
student poster presentation award

卒業生・修了生

環境動態学専攻(2015年度修了)

渡部 俊太郎
Plant Species Biology 誌

2016年度最優秀論文賞

その他(クラブ&サークル)

吹奏楽部

アンサンブルコンテスト
金賞(滋賀代表選出)

人事

ウインドサーフィン部
彦根市体育協会表彰(優秀団体・選手)

着任 平成29年4月1日付

廣川 能嗣
理事長

山根 浩二
理事(研究・評価担当)

田端 克行
理事(地域連携担当)

河野 益美
人間看護学部 教授

瀧 健太郎
環境科学部 准教授

加藤 真一郎
工学部 准教授

土谷 亮
工学部 准教授

大野 光明
人間文化学部 准教授

工藤 慎治
環境科学部 助教

鈴木 一正
工学部 助教

井上 敏之
工学部 助教

後藤 崇志
人間文化学部 助教



松井 宏樹
人間看護学部 助手

演野 裕華
人間看護学部 助手

中嶋 毅 事務局次長

吉野 謙 経営企画グループ 統括

北川 雅彦 学生・就職支援グループ 副参事

熊谷 裕二 財務グループ 主幹

山奥 桂司 経営企画グループ 主幹

有田 高志 地域連携推進グループ 副主幹

鷺田 享 地域連携推進グループ 主査

日比 大希 財務グループ 主事

所屬替え 平成29年4月1日付

堀江 由視 総務グループ

竹村 香織 総務グループ(業務グループより)

田中真理子 財務グループ(学生・就職支援グループより)

橋本 惇 学生・就職支援グループ(財務グループより)

中嶋 崇裕 教務グループ(経営企画グループより)

退職 平成29年3月31日付

大田 啓一 理事長

柴田 克己 人間文化学部 教授

大橋 松行 人間文化学部 教授

森 敏 人間看護学部 教授

栗田 裕 工学部 教授

竹下 秀子 人間文化学部 教授

山田 博子 人間看護学部 助教

本岡 夏子 人間看護学部 助教

平成29年4月、「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」を設置！



(平成29年
4月1日設立)

大学のモットー
“テキストは人間”

ソフトもハードも
モノづくり
(工学部が基礎に)

未来の地域・滋賀県の姿
(スマート農業・看護・観光)

1. センターの概要

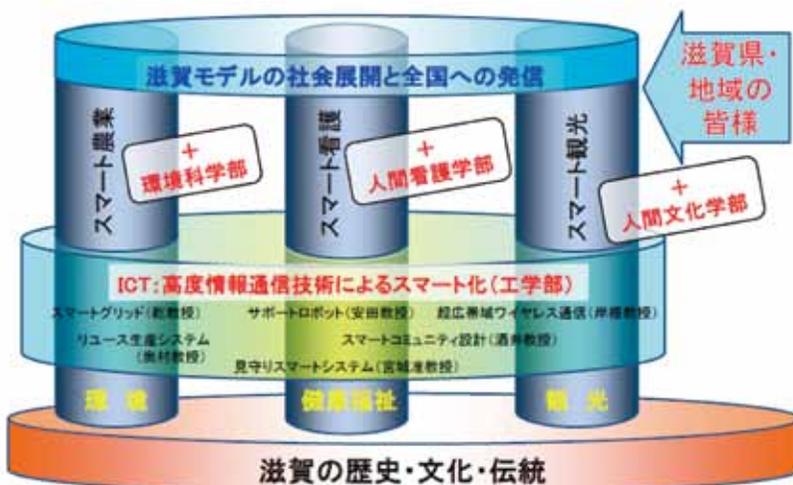
滋賀県立大学では、平成29年4月1日より、地域のみならずと共により、ICT手法による地域課題解決に取り組む研究開発拠点として、工学部に「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」を設置しました。

センターでは、滋賀県の歴史・文化・伝統を基盤として、環境・健康福祉・観光などをターゲットに、それらの多様な情報を高度情報通信技術によって解析・連携・共有化して、その成果として安心・安全な社会モデルを「滋賀モデル」として提案し、全国への発信を目指していきます。

また、数理モデル・情報解析能力を習得した学生の養成や、地域産業・地域問題解決へ向けた社会人養成・学び直しなど、地域のICTの中核を担う人材の育成も目指していきます。

2. 目指す研究内容

「ICT(情報通信技術)」を核に据えた取り組みとするため、工学部に設置して進めていきますが、環境科学部・人間文化学部・人間看護学部という、それぞれ異なる特色の学部を持つ滋賀県立大学の特色を生かし、それぞれの学部の枠にとらわれない、連携・学部横断的な研究・教育を進めていくことを目指します。



3. 今後想定される、地域産業創出の取り組み

(1) スマート農業

新規のビジネスモデルへ活用し、ノウハウの見える化や省力化、あるいは自動化や収入の安定化を図ります。

(研究イメージの例)

気象センサーを利用した天候予測、米・地場作物の新規の栽培方法の検討データ蓄積、生育診断法の客観的見守り手法の開発、それらに必要なセンサー機器等の開発に取り組む、その成果を農業の情報化にかかわる実践教育に繋げていく。

(2) スマート看護

新規の健康福祉システムの実現を目指し、未来予測やノウハウの見える化、少人数化、自動化を図ります。

(研究イメージの例)

訪問看護記録のクラウド化と、タブレットを活用した看護業務の効率化、画像解析・センサーを利用した遠隔での状態見守り等の研究を構想し、その成果を訪問看護と連動した実践教育に繋げていく。

(3) スマート観光

情報循環型の観光システムの実現を目指し、資源・集客効果の見える化、新たな観光資源の開発を図ります。

(研究イメージの例)

史跡でのVR（仮想現実）やAR（拡張現実）の技術を用いた疑似体験や、史跡・景勝地等への観光客動態調査のための新規

手法開発による新たな観光情報分析に取り組み、その成果を地域の活性化に関する授業などに繋げていく。

いずれの分野でも、それらの知識・技術を習得した人材が、それぞれの分野の中核に携わる人材として活躍することを期待しています。

4. 関連行事の実施

(1) センター開所式 平成29年4月3日（月）

センターの開所に伴う式典を開催し、センター銘板の除幕式等が行われました。



(2) 設立記念シンポジウム 平成29年5月31日（水）

センターの設立を記念するシンポジウムを、平成29年5月31日（水）に滋賀県立大学交流センターホールにて開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。

当日は、酒井道センター長から、研究活動内容の紹介がされるとともに、京都大学学術情報メディアセンターの中村裕一教授、立命館大学情報理工学部の島川博光教授、西日本電信電話株式会社研究開発センタの笹田国博部長による特別講演も行われました。

また、特別講演をいただいた方々、滋賀大学データサイエンス学部の竹村彰通学部長、滋賀経済同友会の北幸二代表幹事、原田滋賀県情報政策課長も交えて、パネルディスカッションを行い、熱心な議論が交わされました。

県大イベントカレンダー

- 7月**
- 08日 調整期間（水曜日授業の補講等）
 - 12日 第5回就職セミナー（業界研究セミナー）
 - 15日 調整期間（木曜日授業の補講等）
 - 17日 調整期間（月曜日授業の補講等）
 - 22日 オープンキャンパス
 - 23日 オープンキャンパス
 - 25日 調整期間（火曜日授業の補講等）
 - 29日 調整期間（金曜日授業の補講等）、前期授業終了
- 31-8月04日 前期定期試験
- 8月**
- 05日 夏季休業開始
 - 07-09日 調整期間（集中講義）
 - 18-20日 地域活動実践ターム
 - 22日 大学院入学試験（人間文化学研究科博士前期課程）
 - 24日 大学院入学試験（工学研究科博士前期課程）
 - 25日 大学院入学試験（工学研究科博士後期課程）
- 9月**
- 06-08日 調整期間（集中講義）
 - 13-15日 調整期間（集中講義）
 - 25日 大学院入学試験（環境科学研究科博士前期課程）
 - 26日 大学院入学試験（環境科学研究科博士前期課程）
 - 27日 大学院入学試験（環境科学研究科博士後期課程）
 - 27日 夏季休業終了
 - 28日 後期授業開始
- 10月**
- 06日 第6回就職セミナー（就職活動本番準備セミナー）
 - 12日 大学院入学試験（人間文化学研究科博士前期課程）
 - 13日 大学院入学試験（人間文化学研究科博士前期課程）
 - 18日 第7回就職セミナー（業界研究セミナー）
 - 21日 保護者向け就職説明会
 - 25日 大学院入学試験（人間看護学研究科修士課程）
- 11月**
- 04日 第8回就職セミナー（ES対策セミナーと模擬テスト）
 - 07-08日 第9回就職セミナー（全国一斉WEB模擬試験）
 - 10日 大学祭前日準備（全学休講）
 - 11日 大学祭「湖風祭」
 - 12日 大学祭「湖風祭」
 - 13日 大学祭後片付け（全学休講）
 - 22日 第10回就職セミナー（冬のインターンシップの選び方）
 - 26日 特別選抜試験
- 12月**
- 02日 TOEIC-IP テスト
 - 06日 第11回就職セミナー（ビジネスマナー講座）
 - 16日 第12回就職セミナー（面接対策とGD対策）
 - 20日 第13回就職セミナー（学内業界研究会事前説明会）
 - 26日 冬季休業開始
- 1月**
- 05日 冬季休業終了
 - 09-11日 調整期間（集中講義）
 - 12日 センター試験前日準備（全学休講）
 - 13日 大学入試センター試験
 - 14日 大学入試センター試験
 - 16-18日 学内業界研究会

K E N D A I J I M A N

